



深谷市立川本南小学校

第5学年 学年だより
社会科見学号 NO. 15
平成 25 年 11 月 22 日 (金)

社会科見学でしっかり学習してきました！

「あと〇〇日で社会科見学だね、先生！」11月20日(水)子供たちと一緒にわくわくした気持ちで、社会科見学に行ってきました。

- ☆ 人の話を静かに聞き、学習をしよう。
- ☆ けじめをつけて、けがなく安全にすごそう。
- ☆ 仲良く、楽しくすごし、思い出に残る社会科見学にしよう。

社会科見学に向けて、子供たちと話し合っ決めてためあてはこの3つでした。

子供たちの話を聞く態度は素晴らしく、説明をしていただいた職員の方にも「よく話が聞けて、学習する態度がいいですね。」とお褒めのお言葉をいただきました。熱心に見学をしている子供たちは、たくさんのことを吸収している様子でした。けがなく、バスの中でも、班行動でも、お弁当の時間でも、声をかけあい、思い出に残る楽しい社会科見学になりました。三つのめあて達成です！また、ひとつの行事を終え、子供たちの成長した姿が見られました。

実行委員のみなさん、しおりの作成、はじめの会や終わりの会の運営、楽しいバスレク、お疲れ様でした。おかげで楽しい社会科見学になりました。

防災学習センター



地震の仕組みを学習した後に、体験した震度7の揺れには、子供たちも驚いた様子でした。大きな揺れに、少し興奮気味の子供たちも、職員の方から「阪神淡路大震災では、家の下敷きになった子供を助けようとした親が、広がってきた火によって泣きながらその場を立ち去るしかなかった。」との話を聞くと、引き締まった顔つきになっていました。

煙が充満する真っ暗の部屋の中を進む煙体験では、ひざをつきながら、姿勢を低くして進む子供たちの真剣な姿がありました。

暴風が吹くときには、外にはでないこと。火事が発生したときには一番に大きな声で大人の人に知らせること。たくさんのことを学習してきました。

青空のもと、おいしいお弁当



穏やかな天気のもと、おいしいお弁当を食べ終わった子供たちは、元気に古墳群を探検しに出かけました。6年生の社会科の学習のよい予習になったと思います。

見てみたかった！自動車ができるまで！

社会科見学に出かける前日に社会科で学習した「自動車ができるまでの行程」を見ることができました。はじめはただの鉄板だったものが、「プレス」「溶接」「塗装」「組立」の行程を経て、自動車の形になっていく様子を見学した子供たちは目をキラキラさせながら、「わぁ～！」と声を上げながら、見学していました。残念ながら、工場内の写真は撮れませんでした。子供たちの目にしっかり焼付いたことでしょう。



子供たちの感想から～日記から抜粋～

ぼくは、社会科見学ですごいと思ったことがあります。一つ目に地震の体験です。震度は7までしかないのをはじめて知りました。震度7の地震を体験したとき、ものすごくこわかったです。東日本大震災の時はあんなに強い地震が来たかと思うとぞっとします。二つ目は、けむりの体験です。下をうようにして歩けば、煙を吸わなくてすむということがわかりました。これから地震や火災の時に役立てていきたいです。
江原 佑哉

群馬県のスバルでは、いろいろな新しい車、昔の車などを見ることができて、とても楽しかったです。5年もかかって新しい車ができるとは思いませんでした。昔の車から現代の車の差がとてもありました。どんどん便利になっていくんだなぁ～と思いました。

うちに帰ってから、いろいろなことを家族に話しました。お父さんでも知らないことがあったので話してあげました。お母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃんにも教えてあげました。今日の社会科見学は、5年生の思い出になりました。
高橋 佳菜子